

香福寺ルポ

橋本駅北口からバスで香福寺前バス停のすぐそばにある静かで見どころのたくさんあるお寺です。

平成さがみはら風土記稿による香福寺の縁起

香福寺は、臨済宗建長寺派の寺院です。

『風土記稿』によると、建長寺（鎌倉市）の末寺で、山号を橋本山といい、地蔵菩薩を本尊としています。開山は建長寺67世の蔵海性珍〔応永18年（1411）没〕で、矢嶋左近某〔寛永17年（1640）没〕が中興したとしてます。また、本尊の地蔵菩薩像は鎌倉時代の仏師、運慶の作と伝えていますが定かではありません。

香福寺には支院として「延寿堂」と「常慶庵」がありました。「延寿堂」は病憎などの診療所であり、「常慶庵」は常慶（延宝7年（1679）没）が開いたと伝えられていますが、ともに『風土記稿』が編さんされた頃にはすでに廃寺になっていたことがわかります。



境内には薬師堂や江戸時代後期に建てられた鐘楼・四脚門があります。

また、境内中央のマキの大樹は樹齢400年といわれています。（平成さがみはら風土記稿より）



本堂



客殿



池



鐘楼



大通り側入り口



薬師堂

境内には見るところは色々あってゆっくりするにはいいところです、「拝観ができ、鯉へのえさやりもできます」



手水舎横の句碑



慈母観世音菩薩像



16号側 山門

